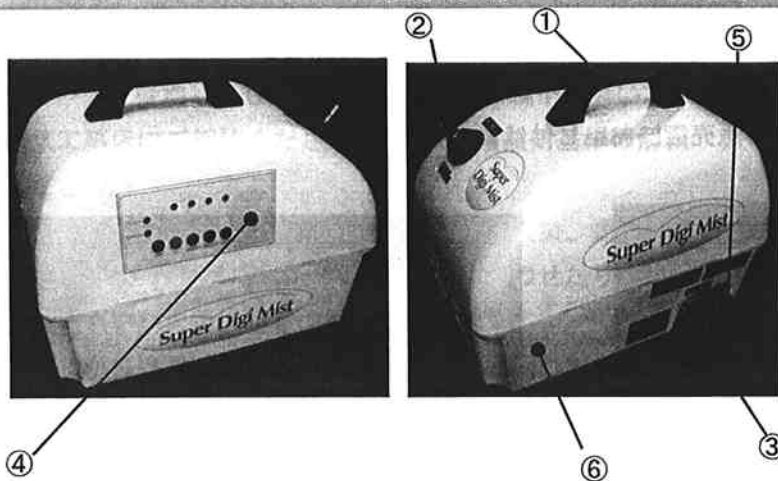


取扱説明書

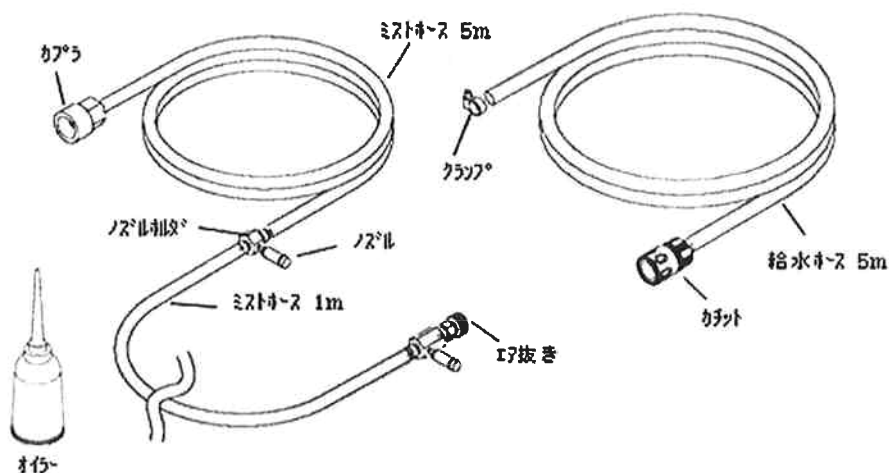
デジミスト

各部の名称



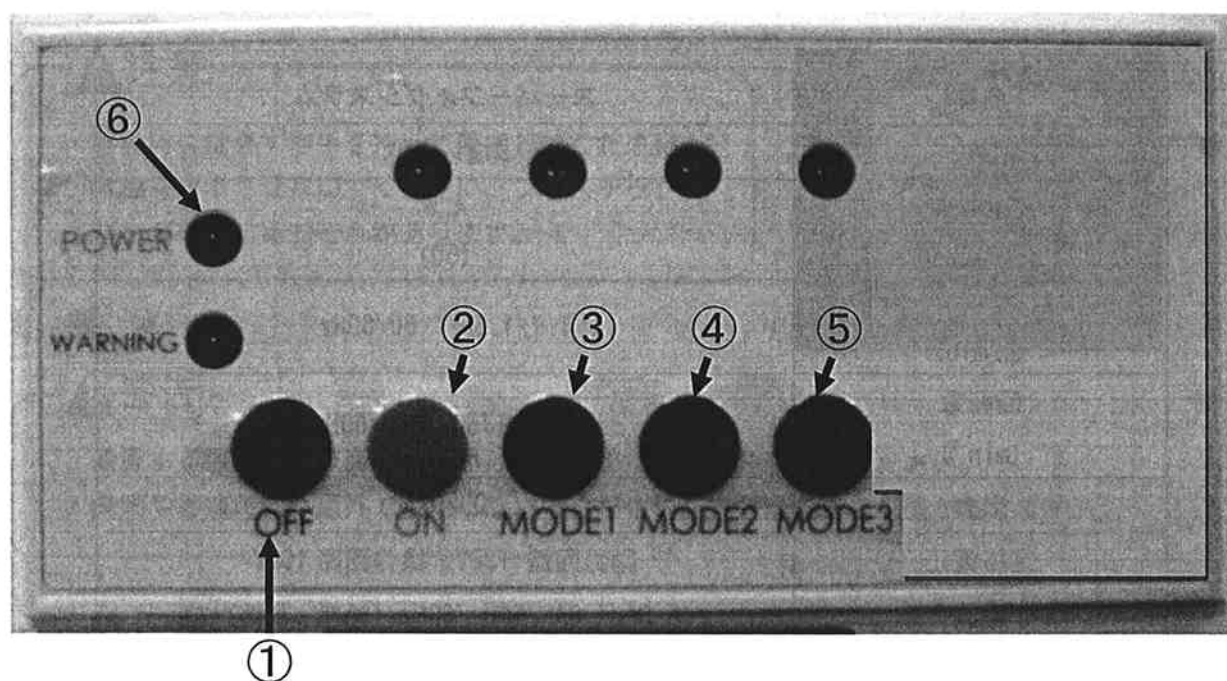
NO.	名称
①	取手
②	吐出口
③	給水口
④	操作パネル
⑤	キャプタイヤコード
⑥	カバー

・標準付属品



標準付属品 名称	数量
ミストホース 5m (カプ付)	1
ミストホース 1m	4
ノズルホルダ	4
ノズルホルダ (エア抜き付)	1
ノズル SUPER06 (フィルタ付)	5
給水ホース φ 15 (カチット付)	1
ファインクランプ	1
オイル	1

各部の名称



No.	名称	役 割
①	OFF スイッチ	運転を停止させるスイッチです。
②	ON スイッチ	連続運転させるスイッチです。
③	MODE1 スイッチ	間欠運転(50秒 ON、15秒 OFF)させるスイッチです。
④	MODE2 スイッチ	間欠運転(50秒 ON、30秒 OFF)させるスイッチです。
⑤	MODE3 スイッチ	間欠運転(50秒 ON、50秒 OFF)させるスイッチです。
⑥	電源ランプ	電源投入時に点灯します。

※このモデルは「WARNING」ランプが点灯する機能はありません。

仕 様

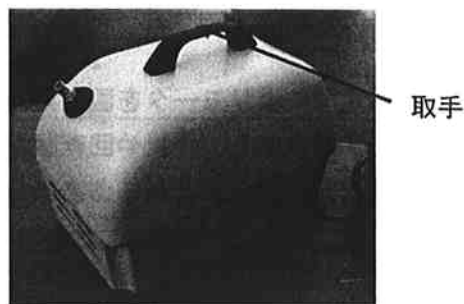
名称	スーパーフォグシステム
型式	Digi Mist
圧力 MPa (kgf/cm ²)	4.9 (50)
水量 (L/min)	1.1/1.3 50/60Hz
回転数 (min ⁻¹)	1450/1750 50/60Hz
出力	0.25kw
定格電圧	動力回路:100V／操作回路 100V
電流	5.0A/4.0A 50Hz/60Hz (絶縁:E種)
寸法 L×W×H (mm)	385×295×325
本機乾燥質量 (kg)	約 13.5
給水ホース	5m(カチット付き)
ミストホース	5m-1本 1.0m-4本
ミストノズル	SUPERJ06×5個
ストレーナ	ラインフィルタ 3/4
標準装備品	間欠運転装置 エア抜き(手動) 高圧ラインフィルタ (70μm)
特記事項	水道直結専用 凍結不可 雨天時屋外使用禁止

運転準備

1. 移動

⚠ 注意

- ・ 移動時には必ず取手を持って運搬してください。
- ・ 本機を落下させないでください。プラスチックカバーが破損するおそれがあります。



2. 設置

⚠ 警告

- ・ 設置する際は必ず床面のしっかりした平坦な場所に設置してください。
- ・ 降雨や雷鳴時には屋外で使用しないでください。感電や落雷の危険があります。

⚠ 注意

- ・ 本機を通気の悪い場所に設置しないでください。
- ・ 塵や埃の多い場所に設置しないでください。
- ・ 本機にビニールカバー等をかけた状態で運転しないでください。

3. フォグノズルの個数

⚠ 注意

- ・ このフォグユニットは、適正なノズル個数が決められています。(SUPERJ06 × 5～10 個)
- ・ 適正ノズル個数以上で使用した場合、圧力調整が不安定になる場合がありますので避けてください。

4. 電源の接続

(1) 電源の接続

⚠ 危険

- ・ キャブタイヤコードは確実にコンセントに差し込んでください。
- ・ 必ずアース（接地）をしてください。アース端子の無いコンセントを使用する場合の設備については、電気工事店にご相談ください。
- ・ 電源には安全の為、ヒューズ、もしくはノーヒューズブレーカを使用し必ず漏電ブレーカも設置してください。

運転準備

(2) 発電機によるモータ始動

⚠ 注意

- ・発電機によりモータを直入始動する際、容量に十分余力がないと、電圧ドロップを起こし、電装部品の焼損や回転数が低下し能力低下、モータの焼損を起こします。下記の発電機容量を目安として参考にしてください。

消費電力	周波数	参考容量
0.6kw	50Hz / 60Hz	2.6KVA 以上

(3) キャプタイヤコードの延長

⚠ 注意

細いコードを使用しますと電圧ドロップが起こり、始動不能、回転数の低下などの重大な故障の原因につながりますので注意してください。(下記参照)

モータ出力	定格電流	標準付属の キャプタイヤ	延長する場合のコード (延長コード長さ)
0.25kw	4A	2.0mm ² x 5m	3C 2.0mm ² (30m 以内)

※電圧ドロップの影響がありますので、コード総延長は 35m 以内にしてください。

運転準備

5. 各ホースの接続と設置

(1) ミストホースの設置

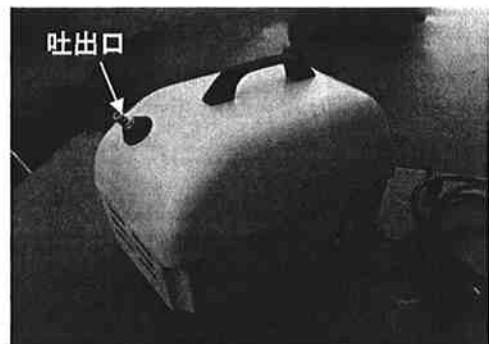
結束バンド等でミストホースを任意の場所に固定してください。

⚠ 注意

- ・ ミストホースが建物などの角や、鋭利な部分に当たると破損することがあります。設置はそのような場所を避けるか、保護等を行ってください。
- ・ ホースを固定する結束バンドは、ホースを傷つける恐れのないナイロン素材のものをお選びください。
- ・ エア抜きは、エア抜き時に水が出ます。濡れても問題のない位置に設置してください。

(2) ミストホースの接続

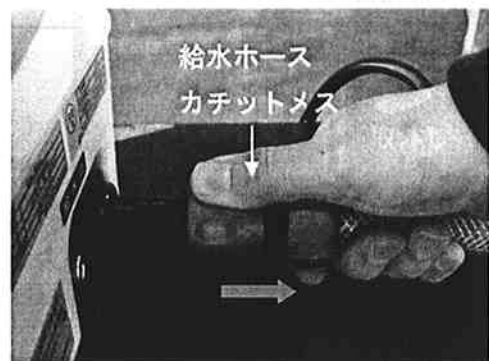
ミストホースのカプラを本機の吐出口にしっかりと
はめ込み、一度引っ張って抜けがないことを確認
してください。



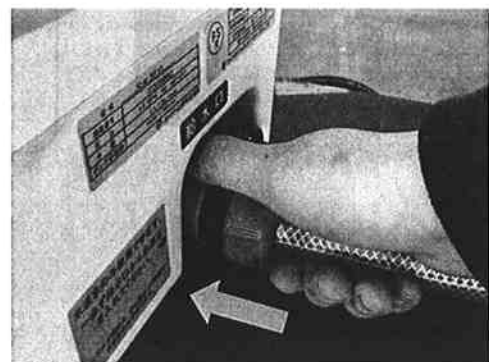
(3) 給水ホース、本機給水口の接続

給水ホースのカチットメスを本機給水口に手でし
っかりとはめ込み、一度引っ張って抜けがないこ
とを確認してください。

- ①カチットメスのスライダー（緑色）を親指でス
ライドさせます。



- ②スライドさせたままカチットを止まるまで本機の給
水口に押し込みます。



- ③親指を放して、その後、一度引っ張って抜
けがないことを確認してください。

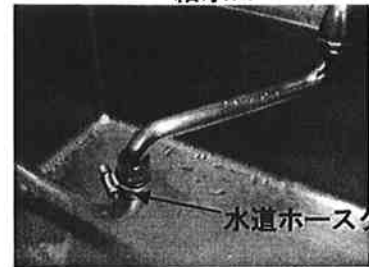
運転準備

④給水ホース、水道の接続

給水ホースの水道側を蛇口に差し込み、+ドライバーでクランプをしめて固定してください。

(※水道の蛇口によっては取り付けできない場合があります。その場合は専門店にご相談ください。)

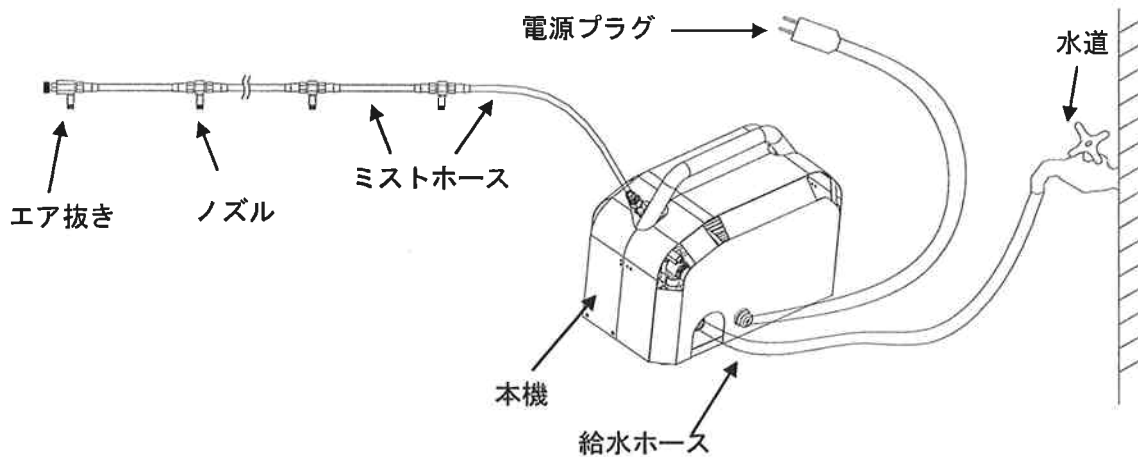
給水口

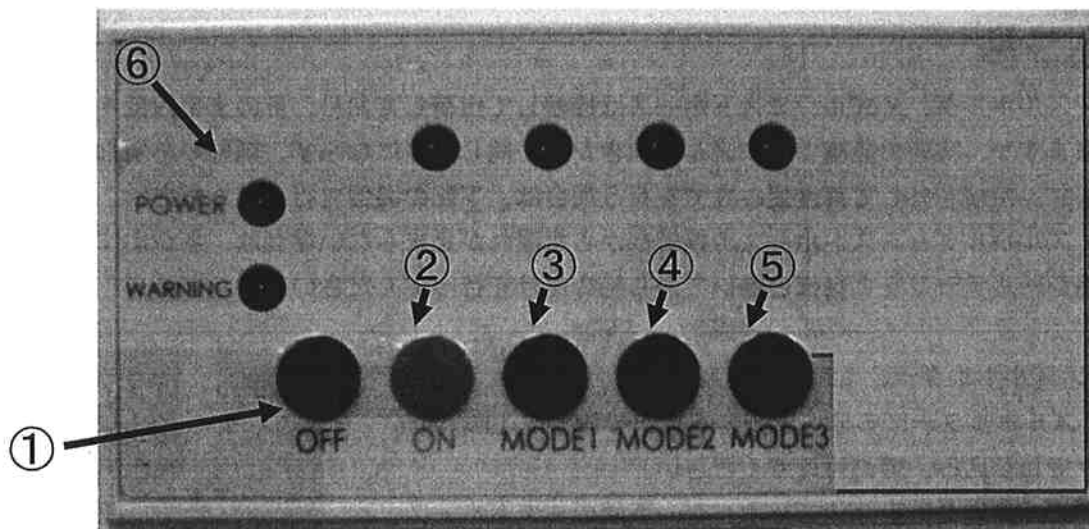


水道ホースクランプ

⚠ 注意

- ・カチットの挿入がゆるい場合、接続口から水が漏れて飛散し、周囲を濡らすおそれがあります。蛇口は徐々にゆっくりと開け、水漏れがないことを確認してください。
- ・カチットの接続口に無理な力が掛かると水漏れすることがありますので、給水ホースの取回しに注意してください。
- ・必ず水道直結にてご使用ください。本機より吐出された霧は人体に吸収されますので、水道水以外の水を噴霧すると、衛生上問題になる恐れがあります。
- ・水道ホースを給水口に取り付ける際は、水量 12L/min 以上、圧力 0.2MPa 以上、0.5MPa 以下の水道水をご使用ください。
- ・フォグノズルの穴は非常に細かいのでゴミを吸いますと、詰まりの原因となります。また、故障の原因となり、本機能力の低下及び損傷につながります。特に、ミストホースの脱着の際はゴミ等が入らないようご注意ください。

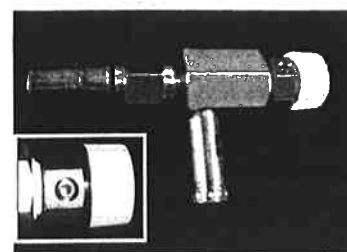




No.	名称	役 割
①	OFF スイッチ	運転を停止させるスイッチです。
②	ON スイッチ	連続運転させるスイッチです。
③	MODE1 スイッチ	間欠運転（50秒 ON、15秒 OFF）させるスイッチです。
④	MODE2 スイッチ	間欠運転（50秒 ON、30秒 OFF）させるスイッチです。
⑤	MODE3 スイッチ	間欠運転（50秒 ON、50秒 OFF）させるスイッチです。
⑥	電源ランプ	電源投入時に点灯します。

※このモデルは「WARNING」ランプが点灯する機能はありません。

- ①ノズル終端のエア抜きを反時計回りに約一周程度回して開きます。
- ②パネルの ON スイッチを押してください。
- ③しばらく運転し、エア抜きから勢いよく水が出たらノズル終端のエア抜きを閉めてください
- ④ノズルからミストが出れば完了です。



穴から水が出ます

エア抜き

- ・エア抜きから勢いよく水が出ますので注意してください。
- ・エア抜き操作が不完全な場合、ミストが完全に噴射されない場合があります、その場合は再度エア抜きの操作を繰り返してください。

運転方法

(2) 連続運転

②の ON スイッチを押して、運転を開始してください。

①の OFF スイッチが押されるまで、連続運転します。

(3) 間欠運転設定

一定時間ごとにミストの吐出/停止を繰り返します。

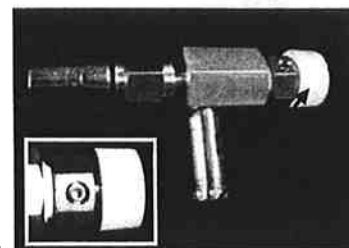
③/④/⑤の MODE1/MODE2/MODE3 スイッチのいずれかを押して、運転を開始してください。

①の OFF スイッチが押されるまで間欠運転します。

使用後の取扱い

1. 本機内の水抜き方法

- ①本機エア抜きを開き、連続運転を行ってください。
(連続運転の手順はページ D10 の 2 項を参照してください。)
- ②水道の蛇口を締め、エア抜きからしばらく水を出してください。
- ③エア抜きから出る水が途切れ気味になったら、速やかに停止させてください (OFF スイッチを押してください。)



エア抜き

⚠ 注意

- ・ 使用していないときは必ず上記の手順で水抜き操作を行ってください。
- ・ エア抜きから勢いよく水が出ますので注意してください。

2. 寒冷地での使用

⚠ 注意

- ・ 気温が 0℃以下のときは原則として使用しないでください。凍結によりポンプが損傷します。
- ・ 使用後の保管場所が凍結のおそれがある場合、必ず水抜きをしてください。ホースを含む本機内の水経路内に凍結が発生したまま運転しますと必ず損傷しますので十分注意してください。

3. 使用後の保管

⚠ 危険

- ・ 使用しないときは屋内で保管してください。本機が雨に濡れたまま使用すると漏電・感電のおそれがあります。